

## 最先端で地域を学ぶ

南相馬市立石神第二小学校長 木村 恵子

本市は ICT 教育を推進するための豊かな環境が整っております。

まず、ソフトバンクからペッパーを6台も借用しております。こんな学校は初めてです。恵まれていることに驚きました。本校はその6台に次のようなネーミングをしております。

- ・ペッパー
- ・ソルト
- ・シュガー
- ・マヨネーズ
- ・ソイソース
- ・ケチャップ

お気づきのように、すべて調味料の名前です。各階の廊下に立っているペッパー

は、児童と同じ名札を付けているので名前が分かります。昨年度は、理科準備室にしっかりと保管されていましたが、今年度は、子どもたちがふれる機会を提供したいと考え、廊下にデビューさせました。予想どおり休み時間は人だかりができます。タッチパネルを上手に操作して、ペッパーと会話したり動きを楽しんだりする子どもたちを見ていると、廊下に展示して良かったと思います。

また、ドローンも教育活動に導入しました。昨年度は市商工労政課及び「ゆめサポート南相馬」の協力を得て、上空からドローンで地域の特色を観察しました。地図学習の導入にもなります。校庭の中央に置かれたドローンが、少しずつ空中に上がります。ドローン本体に付けられたカメラの映像が、子どもたちの目の前のモニターに映し出されます。「うわぁー」と歓声があがり、鳥になった気分で学校の周りの土地の使われ方について学びました。

さらに、クラブ活動においてレゴマインドでプログラミングをしたり、ロボットテストフィールドという優れた施設を教材にしたりして、地域について学ぶ学習を進めています。最先端の施設や機器を活用して学習を深めたり広げたりすることによって、地域や学校への誇りと愛着心を育てていきたいと考えています。



ドローン

